

プラスチック成形加工学会関西支部 第13回成形加工基礎講座のご案内

高分子材料の機器分析 ー熱分析、電子顕微鏡からレオロジーの基礎ー

プラスチック成形加工学会関西支部ではプラスチック成形加工に関連したトピックスを対象に、教科書を独学するために必要な基礎知識の端緒をつかんでいただくための基礎的な講座として、成形加工基礎講座を開催して参りました。第13回は「高分子材料の機器分析」というテーマを取り上げます。

今回、高分子材料の機器分析としては、「熱分析」の基礎（示差走査型熱分析(DSC)から分かること、熱膨張係数(CTE)と複合則等）、「電子顕微鏡」や「プローブ顕微鏡」、「共焦点顕微鏡」等の基礎と応用、さらに「力学物性」の基礎としてレオロジーに関する内容について解説します。

本講座では、上記トピックスを4回に分けて取り上げ、高分子材料の各種分析について、基礎から応用にわたる広い範囲を理解できるように解説します。特に、レオロジーの基礎については、予備知識がゼロからでもご理解いただけるよう、平易かつ具体的に解説します。ご多用中だとは存じますが、多数のご参加を期待しております。

(準備の都合上、11月8日までにお申し込み下さい。)

関西支部支部長
山田浩二

1. 日 時： 1日目：平成29年11月15日（水）午後6時30分～午後8時00分
2日目：平成29年11月22日（水）午後6時30分～午後8時00分
3日目：平成29年11月29日（水）午後6時30分～午後8時00分
4日目：平成29年12月 6日（水）午後6時30分～午後8時00分

2. 場 所： パナソニック企業年金基金 松心会館 2F 研修室
〒571-0055 大阪府門真市中町 1-19

3. 講 師： 滋賀県立大学 徳 満 勝 久 氏

第1日目：熱分析の基礎

相転移とは？DSCから分かること（結晶化と平衡融点）、熱膨張と複合則

第2日目：電子顕微鏡、走査型プローブ顕微鏡、共焦点顕微鏡の基礎

電子でモノを見る原理、レーザーラマン共焦点顕微鏡の具体的事例

第3日目：レオロジーの基礎Ⅰ

引張り試験から分かること、粘弾性モデルと緩和について

第4日目：レオロジーの基礎Ⅱ

静的測定と動的測定から分かること、時間と温度の換算則

※基礎講座の進捗状況により内容は多少変更する場合がありますのでご了承下さい。

※予め資料を pdf ファイルとして配布します。当日は各自ご持参ください。

※板書により講義を進める場合が多々ありますので、筆記用具とノートを持参してください。

5. 参加費：(一日あたりの金額です。なお会員の方については4回通してのご参加の場合、総額10,000円で申し受けます。

会員 3,000円、 学生1,000円
非会員 5,000円

6. 定員： 30名

7. 申込方法：受講者氏名、所属、連絡先、受講希望日を明記の上、下記宛お申し込みください。

記

銀行振り込み：京都銀行下鴨支店、普通預金 口座番号「3114793」、
名義「プラスチック成形加工学会関西支部」

参加申込先：〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎御所海道町 京都工芸繊維大学大学院
先端ファイブ科学部門 プラスチック成形加工学会関西支部事務局
横山敦士 宛
(075)724-7754 (電話) (075)724-7754 (FAX) E-mail：yokoyama@kit.ac.jp

交通のご案内



所在地

〒571-0065 大阪府門真市中町1-19
パナソニック企業年金基金 松心会館
TEL.06-6907-4812 FAX.06-6907-4813

アクセス

- ・京阪電車「門真市駅」下車、徒歩約5分
- ・大阪モノレール「門真市駅」下車、徒歩7分